

(2) 農山漁村発イノベーションの推進

ア 需要に応じた新たなバリューチェーンの創出

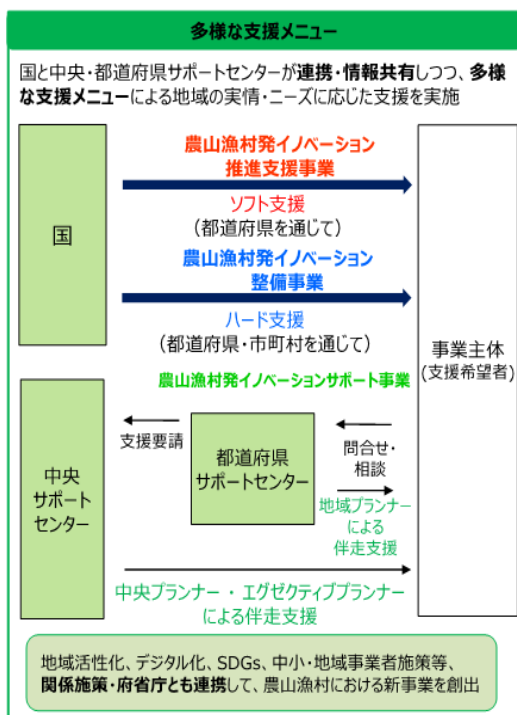
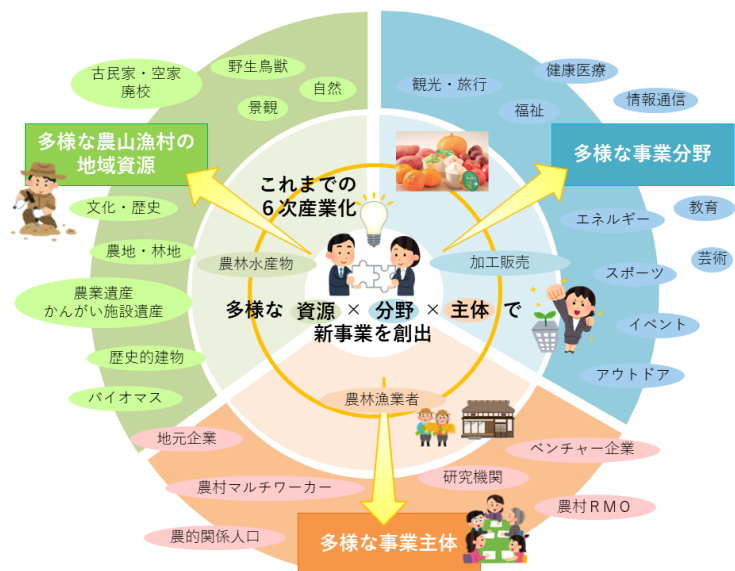
- 農林漁業者主導の取組に加え、民間企業のアイデア・ノウハウも活用した多様な事業者による地域資源を活用した6次産業化を推進するとともに、異業種との連携により、他業種に蓄積された技術・知見の活用、生産・流通システムの高度化等による農業分野でのイノベーションを推進するため、以下の取組を行っています。
 - (1) 農山漁村発イノベーション対策のうち推進事業（創出支援型）、整備事業（産業支援型）の推進
 - (2) 総合化事業計画を認定し、県や県農山漁村発イノベーションサポートセンターと連携した支援等の実施

農山漁村発イノベーション(創出支援型及び産業支援型)と総合化事業計画の認定状況

農山漁村発イノベーションを推進し、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図るため、農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を新分野で活用した商品・サービスの開発やこれらに係る研究開発、デジタル技術の活用に係る専門的な知識を有する人材の派遣・育成等を支援します。

- 農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した取組
- 他産業起点の取組など他分野との連携を一層促進

地域における
雇用・所得創出



6次産業化(総合化事業計画)



六次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画について、令和5年度に東海農政局管内で新たに3件（岐阜2件、愛知1件）を認定（令和5年度末累計256件）しています。

令和6年3月末現在

地域	総合化事業計画の認定件数		
	うち農畜産物関係	うち林産物関係	うち水産物関係
全国	2,638	105	197
東海3県	256	15	22
岐阜県	87	5	5
愛知県	87	3	3
三重県	82	7	14

農山漁村発イノベーションの取組事例

農業×食品

有限会社 萬里（岐阜県高山市）

飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」を、飛騨地域の農家、福祉事業所から買い取り、受注生産により、その実から搾油した「えごま油」を通販等で販売。

<取組の成果>

- 農産物、6次化商品の売上：27.5万円（H27）→ 3,000万円（R4）
- 買取農家数：4人（H27）→ 102人（R4）
- 買取数量：0.05 t（H27）→ 2.8 t（R4）



<取組の概要>

- 飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」の栄養分と寒冷高地でも栽培でき獣害を受けにくいという利点に着目。現在、飛騨地域の農家、福祉事業所等から買い取り。農家と障がい者の収入源として取り組みを促進することで耕作放棄地の解消に寄与。
- 事業当初はえごまの実を販売していたが、H29年から低温圧搾した「えごま油」を販売。その後、搾り粕を使用したパウダー等の加工商品を開発。通販を中心に自社ECサイト等で全国的に珍しい受注生産での「生搾りえごま油」を販売。

農山漁村発イノベーションの取組事例

食品×観光×旅行

（株）田原観光情報サービスセンター（愛知県田原市）

道の駅田原めっくんはうす内の加工施設で農産物の加工・製造・販売と農業者の商品開発を支援。また、地域の食文化、農林水産施設等をめぐるツアーを企画・運営。

<取組の成果>

- 農産物、6次化商品等の売上：9.2億円（H30）→ 9.6億円（R3）
- 農業者からの商品開発の受注数：H31以降、毎年60～70品を受注
- 商品開発による売上：484万円（H31）→ 1,314万円（R3）



<取組の概要>

- 平成4年に商工会、JA、漁協の出資により（株）田原観光情報サービスセンターを設立。
- 道の駅田原めっくんはうす（農産物直売所等）の指定管理を受託し、施設内に設置した「めっくんもぐもぐ工房」で地域資源を活用したオリジナル商品の製造・販売。地域の農業者のためのテストキッチンとしても機能。
- 令和4年度Savor Japan（農泊食文化海外発信地域）に認定。
- 令和3年度農商工等連携事業計画の認定。食文化、農林水産施設等をめぐる観光ツアーを企画・運営。